

川内地域ワーキングチーム（特別会合）
議事要旨

1. 開催要領

開催日時：平成26年9月5日（金）12：30～13：45

場所：中央合同庁舎第4号館1208特別会議室

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

議題 川内地域の緊急時対応の確認について

3. 配布資料

| | |
|---------|------------------------|
| 資料1 | 川内地域の緊急時対応（概要） |
| 資料2 | 川内地域の緊急時対応（全体版） |
| 資料3 - 1 | 原子力災害対策指針要求内容への対応状況（案） |
| 資料3 - 2 | 防災基本計画要求内容への対応状況（案） |
| 参考資料1 | 地域防災計画の充実に向けた今後の対応 |
| 参考資料2 | 地域の防災体制の確認について |

4. 会議概要

- ・ 森下内閣府原子力災害対策担当室参事官から、資料1及び資料2に基づき、川内地域の緊急時対応に関する説明を実施。また、資料3 - 1及び資料3 - 2を紹介。
- ・ 黒木内閣府原子力災害対策担当室長から、鹿児島県に対して、鹿児島県と県バス協会の協定締結の現状と今後の予定について質問。
佐々木鹿児島県副知事から、県バス協会よりも個別の輸送事業者と協定を締結した方がより実効性があるのではないかと県バス協会から提案を受け、現在、調整を進めている。出来るだけ早く協定締結をする旨、回答。
- ・ 西平阿久根市長から、内閣府に対して、鹿児島県及び薩摩川内市に国の職員が派遣されたとの報道について、他の関係市町に対しても支援を要望。
黒木内閣府原子力災害対策担当室長及び佐々木鹿児島県副知事から、関係省庁挙げての自治体の防災体制強化の支援の一環として、経済産業省職員を内閣府に併任し、川内地域へ派遣するものであり、鹿児島県及び薩摩川内市に限定した派遣ではなく、他の関係8市町全てを支援するために派遣する旨、回答。
- ・ 黒木内閣府原子力災害対策担当室長から、九州電力株式会社に対して、福祉車両等の移動手段の確保、スクリーニングの要員や機材の提供、緊急時の活動に伴う汚染物等の処理、緊急時モニタリングセンターへの人員等の提供等について、しっかり対応していただけるのか質問。

- 山元九州電力株式会社副社長から、車両手配、スクリーニング、モニタリング等のさまざまな課題にしっかり対応していきたい旨、回答。
- ・ 黒木内閣府原子力災害対策担当室長から、実動組織関係 4 省庁に対して、不測の事態には、県、市町からの要請により、必要に応じて各種支援を行っていくという理解でよいか質問。
笠原防衛省大臣官房審議官から、鹿児島県知事からの災害派遣要請又は原子力災害対策本部長からの支援要請に基づく、原子力災害派遣の事態となった場合は、自治体のニーズを踏まえつつ、自衛隊の災害派遣活動に万全を期す旨、回答。
竹田海上保安庁総務部参事官（警備救難担当）から、第十管区海上保安本部と連携し、鹿児島県等からの要請に基づきしっかりと対応していきたい旨、回答。
塩川警察庁長官官房審議官（警備担当）から、必要に応じ可能な範囲で支援を行いたい旨、回答。
室田総務省消防庁国民保護・防災部長から、緊急消防援助隊の派遣に関し、要請に応じ対応したい旨、回答。派遣に際し、安全管理に関する情報提供をお願いしたい旨、発言。
 - ・ 黒木内閣府原子力災害対策担当室長から、鹿児島県に対して、地点数の拡充等今後のモニタリング監視機能の充実化について質問。
佐々木鹿児島県副知事から、発電所から 30 キロの範囲にある測定局のデータ等を、国、地方公共団体等の関係職員間で緊急時に有効に共有するためのシステムを今年中に整備する予定、今後とも、モニタリング監視機能の更なる充実に向けていきたい旨、回答。
 - ・ 西平阿久根市長から、再稼働については、地域住民の理解が大切であり、国にしっかり対応していただきたい旨、発言。
吉野経済産業省大臣官房審議官（エネルギー・環境担当）からは、地元毎にさまざまな事情があるが、地元自治体と相談をしながら、地域住民の理解を得るため丁寧に対応していきたい旨、回答。
 - ・ 本会議のまとめとして、黒木内閣府原子力災害対策担当室長から、川内地域の緊急時対応について、関係機関・関係者の対応が具体的であり、原子力災害対策指針が示す防護措置の考え方に基づく、事態の進展や原子力発電所からの距離に応じた合理的な内容になっていることを確認した旨、発言。
また、本日確認した内容は、今後、訓練を実施し、その結果を検証し、計画等の改善に繋げる出発点とすると共に、本資料及び本日の確認結果を、次回の原子力防災会議幹事会及び原子力防災会議に、内閣府から報告する旨、説明。
 - ・ 池田原子力防災会議事務局次長から、本日の会合も、政府を挙げて地域の防災体制の充実化の支援であり、引き続き関係省庁と共に支援を行っていく旨、発言。

（以上）

出席者一覧

| | |
|--------|---|
| 池田 克彦 | 原子力防災会議事務局次長(原子力規制庁長官) |
| 黒木 慶英 | 内閣府原子力災害対策担当室長(原子力規制庁放射線防護対策部長) |
| 森下 泰 | 内閣府原子力災害対策担当室参事官(原子力規制庁放射線防護対策部原子力防災政策課長) |
| 藤山 雄治 | 内閣官房副長官補(事態対処・危機管理)付 危機管理審議官 |
| 青柳 一郎 | 内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(総括担当) |
| 塩川 実喜夫 | 警察庁長官官房審議官(警備担当) |
| 菊地 宣晶 | 総務省大臣官房総務課課長補佐 |
| 室田 哲男 | 総務省消防庁国民保護・防災部長 |
| 田中 正朗 | 文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当) |
| 鈴木 康裕 | 厚生労働省大臣官房技術総括審議官 |
| 別所 智博 | 農林水産省大臣官房技術総括審議官 |
| 吉野 恭司 | 経済産業省大臣官房審議官(エネルギー・環境担当) |
| 佐藤 尚之 | 国土交通省大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官 |
| 竹田 聡 | 海上保安庁総務部参事官(警備救難担当) |
| 眞先 正人 | 環境省水・大気環境局総務課長 |
| 笠原 俊彦 | 防衛省大臣官房審議官 |
| 佐々木 浩 | 鹿児島県副知事 |
| 屋島 明人 | 鹿児島県総括危機管理監(兼)危機管理局長 |

(オブザーバー)

| | |
|--------|--------------------|
| 知識 博美 | (代理出席)薩摩川内市副市長 |
| 新屋 義文 | (代理出席)薩摩川内市危機管理監 |
| 石田 信一 | (代理出席)いちき串木野市副市長 |
| 西平 良将 | 阿久根市長 |
| 松木園 富雄 | (代理出席)鹿児島市副市長 |
| 川畑 浩志 | (代理出席)出水市副市長 |
| 小園 義徳 | (代理出席)日置市副市長 |
| 大橋 近義 | (代理出席)始良市副市長 |
| 紺屋 一幸 | (代理出席)さつま町副町長 |
| 川添 健 | 長島町長 |
| 山元 春義 | 九州電力株式会社代表取締役副社長 |
| 田代 幸英 | 九州電力株式会社執行役員 立地本部長 |

